広報
向日市
No. 124　昭和50年6月
■ 発行　京都府向日市役所（向日市寺戸町中野20）
■ 編集　秘書課広報係
■ 電話　075（931）1111

おもな記事

○一日のゴミ量大型バス八台分も（一ページ）
○市政に期待する声声声＝新市長に望むもの＝（二ページ）
○交通安全ルールを学習＝お年寄りの交通安全の集い＝（三ページ）
○六月のお知らせ（四ページ）

一日のゴミ量バス8台分も
昨年一年間では9,730トン

（毎日のゴミを乙訓環境衛生組合ゴミし尿処理場で処理）

清潔で住みよい生活をのぞむわたしたちにとって、ゴミ処理は一日も欠かせない大切な問題となってきています。
市でも、"市民の暮らしの周辺整備"の施策として、ゴミ対策に取り組んでいます。しかし、生活の高度化と多様化に伴い、ゴミの量質とも複雑化してきた現在、ゴミ問題も住民とともに考える時期にさしかかってきているといえましょう。

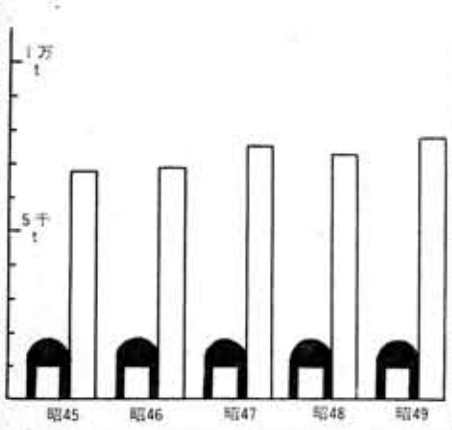
市のゴミも他都市と同じように、ここ数年来ふえる一方。このふえるゴミ対策が重要な施策の一つにあげられています。

とくに最近、"消費は美徳"とか、"現代は使い捨ての時代"という言葉が盛んに使われているように、各家庭の生活水準が向上した現在、わたくしたちのまわりはゴミが渦まき、ゴミ処理は、一日も欠かせない切実な問題となっています。

昨年一年間のゴミの量は燃えるゴミが七千七百九十五トン、燃えないゴミが千九百三十五トンで、一日平均約二十六・六トン、これは大型バスの約八台分ものになります。

ゴミが、市内の各家庭と事業所などから出ていることをみてみますと、昭和四十五年に六千八百トン、昭和四十六年に六千九百三十一トン、昭和四十七年に七千五百八十六トン、昭和四十八年に七千二百二十七トンとふえつづけています。

最近五か年間のゴミの量



ゴミの量は文化のバロメーターをあらわすといいますが、高度成長のつづくわが国において、各家庭から出るゴミは公害へとその姿をかえようとしています。

処理費用が増大
五年前に比べ三倍

ゴミの量がふえるのに比例して、処理費用も増大、昭和四十五年度では八千七百万円だったのが、昭和四十九年度には一億九千万円に、そしてことしは、予算全体の十パーセントにあたる二億八千万円にのぼり、五年前に比べ三倍の費用となっています。

このため市では、ふえるゴミ対策にゴミ収集車をフル回転、ゴミ収集は、燃えないゴミを週二回、燃えるゴミを週一回、それも機械車五台、オープン車一台が毎日のきめられた区域を走っています。

これらのゴミは、乙訓二市一町で管理する「乙訓環境衛生組合、ゴミ・し尿処理場」（大山崎町下植野）で処理されています。

本年度は、古くなったゴミ収集車を新しく買替え、ゴミ処理の能率アップをはかっています。また、大型ゴミなどの収集も定期的に行い、市民が少しでも良い環境で生活できるようにと住民サービスに努め、住みよいまちづくりを進めています。

ゴミの量が山と
ゴミ収集車試乗記
半日で三回処理場へ

ゴミの実態を知ろうと三日間、広報マン一同、ゴミ収集車に試乗してみました。その三日間のうちのある日の試乗記です。

午前八時三十分、朝からよく晴れわたった中、広報マンが乗り込んだゴミ収集車が出発した。

今日のコースは、寺戸町東田中瀬、久々相、山縄手の住宅街道の両側には山とつまれたゴミ袋。往来する車に気をつけながらゴミ袋を収集車にほうり込む。絶好の運動とばかり勇んで出てはみたが、出発して二十分、早くも額に汗がにじんできた。

九時二十分、収集車にいっぱいになったゴミを大山崎町にあるゴミ処理場へ。

ここでは、乙訓二市一町のゴミがすべて集められ処理される。一日の平均ゴミ処理量は九十六トン。

疲れた体にむち打ち、再び作業へ。ポリ袋に入れてある収集しやすいゴミ、ポリ袋に入れてはあるが口のくくってない収集しにくいゴミ、中に泥の入っているゴミなど千差万別。一人でぶつぶつ不平を言いながら収集車のあとを追ってゴミを集めてゴミを集めほうり込む。

ゴミを集め走りまわること三時間半。その間、処理場へ三往復、ゴミ収集の大変さと、ゴミの量の多さに驚いた。仕事を終え作業員に「どうや」と聞かれ、「しんどいわ！」とただ一言。とにかく疲れた一日でした。

（ゴミ収集車もフル運転）

五つのお願い
ゴミは必ず袋に

ゴミ処理はもちろん行政のしごとですが、各家庭でも、消費生活に工夫をこらし、ゴミの排出量をできるだけ少なくする努力も必要です。また、ゴミを出す場合でも、次のことをよく守り、清潔で住みよいまちづくりを、まず自分のまわりから始めましょう。

一、ゴミは必ず袋に入れて下さい。（例…ポリ袋・紙袋）
二、台所ゴミは水分を十分に切って下さい。
三、ポリ袋・紙袋は片手でもてる大きさ、重さにまとめ、口をしっかりくくって出して下さい。
四、収集のとき、けがをしやすいものには必ず「きけん」と大きく書いて出して下さい。
五、ゴミは必ずきめられた日のきめられた場所に、きめられた時間（午前八時）までに出し下さい。

6月5日は世界環境デー　みんなで住みよい環境づくり

"世界環境デー"の六月五日から、環境週間が始まります。

住みよい自然環境を保護しようと、昭和四十八年六月に開かれた国連人間環境会議の提唱で始まったものです。

市では、この週間中、多彩な行事を繰り広げ、環境保全に取り組みます。行事は、つぎのとおりです。

五日（木）市民「愛車を休ます日」・植樹祭・こども園芸クラブ発会式、**六日**（金）街頭PRA花の種と風船配布・東向日駅周辺V、**七日**（土）河川パトロールと魚の放流、**八日**（日）市民歩こう会・公共施設の清掃奉仕、**九日**（月）環境騒音二十四時間測定、**十一日**（水）市民「愛車を休ます日」・映画と施設見学

週間行事も多彩

「市民歩こう会」
参加者を募集
「映画と施設見学」

〔市民歩こう会〕市長とともに参加する「市民歩こう会」を行います。多数で参加下さい。
〔とき〕六月八日（日）午前八時三十分、向日神社集合
〔コース〕向日神社―五塚原古墳―高畠陵―大塚古墳―物集女公民館―淳和天皇火葬塚―市役所（解散）約五・五キロ三時間
〔申込み〕集合場所へずい時
※雨天のとき中止

〔映画と施設見学〕映画と施設見学を行います。あなたもいちど参加しませんか。
〔とき〕六月十一日（水）午前の部十時、午後の部一時三十分の二回
〔集合場所〕市民会館
〔見学場所〕乙訓環境衛生組合（ゴミ・し尿処理場）
〔定員〕午前の部二十五名、午後の部二十五名
〔申込み〕六月一日～九日の間に秘書課広報係へ。電話九三一―一一一一番

参加しませんか